

【テーマ2】誰もが活躍できる安全・安心な社会の実現

めざす方向

人口減少・超高齢社会に的確に対応し、誰もが活躍し安心して暮らせる持続可能な社会の実現をめざします。

(中長期の目標・指標)

- ・ 転出超過率（対東京圏）：0.13（平成 27 年）⇒ 前年を下回る。
- ・ 就業率（15 歳～34 歳）：59.81[全国 62.25]（平成 27 年）⇒ 全国平均を上回る。
- ・ 合計特殊出生率：1.39（平成 27 年）⇒ 前年を上回る。
- ・ 健康寿命：男性 70.46 歳、女性 72.49 歳（平成 25 年）⇒ 平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加。

人口減少・超高齢社会への対応

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>

■人口減少・超高齢社会への対応について

- ・ 「大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略」(*13)について、関係部局と共に、国の交付金も活用しながら、具体的な取組を進める。
- ・ 併せて、「大阪府人口ビジョン」(*14)や上記戦略を踏まえて、成長戦略のバージョンアップや「いのち輝く未来社会」をめざすビジョン（仮称）の策定に取り組む。
- ・ 少子化対策(結婚・出産・子育て)の入り口である結婚支援のあり方について、庁内プロジェクトチームを設置し、結婚支援策を取りまとめる。

(スケジュール)

(結婚支援策)

平成 29 年 9 月 ⇒ 結婚支援策 中間まとめ

平成 30 年 2 月 ⇒ 支援策取りまとめ

<何をどのような状態にするか（目標）>

◇活動指標（アウトプット）

- ・ 成長戦略のバージョンアップ。
- ・ 「いのち輝く未来社会」をめざすビジョン（仮称）の策定
- ・ 今後の結婚支援策を取りまとめ。

◇成果指標（アウトカム）

(定性的な目標)

- ・ 成長戦略のバージョンアップ、「いのち輝く未来社会」をめざすビジョン（仮称）の策定や結婚支援策の具体的な推進。

<進捗状況（H30.3月末時点）>

- 地方創生の推進に向け、若者の安定就職等の就業支援をはじめ、産業振興、観光振興などの 7 事業において、国の地方創生関係交付金を獲得し、関係部局において事業を実施した。
- 成長戦略のバージョンアップにあたっては、人口減少・超高齢化社会の到来を見据えて、「人口の減少と産業構造の変化に対応した人材力の強化」を【新たに重点化を図る分野】に追加した。
- 併せて、人口減少・超高齢社会においても、生涯を通じて心身ともに健康で、それぞれの能力を活かして輝きながら暮らし続けることのできる「いのち輝く未来社会」の実現に向け、万博のインパクトを活かしてオール大阪で目標を定め、さらに強力に取組を進めるため、「いのち輝く未来社会」をめざすビジョンを策定した。
- 結婚支援については、庁内 7 部局が参画する「結婚支援のあり方検討プロジェクトチーム」を設置した（4 月）。プロジェクトチームにおいて、各種統計データ、他府県・府内市町村の取組み及び民間事業者の動向等の調査分析等を行いながら、支援策のあり方検討を進め、経過報告を取りまとめた（1 月）。現在、支援策の取りまとめ（秋頃を目途）に向け、府における未婚者増加の要因等について分析を行っている。

2025 万博の理念を先取りした「いのち輝く未来社会」をめざすビジョン(仮称)の策定

<今年度何をするか(取組の内容、手法・スケジュール)>	<何をどのような状態にするか(目標)>	<進捗状況(H30.3月末時点)>
<p>■「いのち輝く未来社会」をめざすビジョン(仮称)の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025 万博の理念を踏まえ、府・市町村・民間企業などオール大阪で、いのち・健康を軸にした幅広い取組みを推進するため、「いのち輝く未来社会」をめざすビジョン(仮称)を策定する。 ビジョンでは、有識者の意見も聞きながら、強みを活かした大阪の「めざす姿」、それに向けた取組みの方向性、先進的な取組みを幅広くとりまとめ、国内外に発信していく。 <p>(スケジュール)</p> <p>平成29年6月頃 ⇒ 骨子案を策定 平成29年9月頃 ⇒ 案(中間とりまとめ)を策定 平成30年3月 ⇒ 成案化</p>	<p>◇活動指標(アウトプット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ビジョンの策定。 <p>◇成果指標(アウトカム)</p> <p>(定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪の「めざす姿」の実現に向けて、いのち・健康を軸に幅広い分野で取組を進めていく土台をつくる。 	<p>○万博誘致推進本部会議(4月)において、ビジョンのイメージ(趣旨、対象分野、スケジュールなど)を提示し、以降、本格的な策定作業に着手した。</p> <p>○庁内部局への意見照会、市町村への実施事業の調査、経済団体・民間企業等のヒアリング、有識者のご意見も聞きながら、ビジョンに掲げる「めざす姿」「取組みの方向性」などについて検討を行い、「大阪から「いのち輝く未来社会」をめざすビジョン」骨子案をとりまとめた(7月)。</p> <p>▶ ○万博誘致推進本部会議、市長会・町村長会、市町村ブロック会議などの場を活用し、さらに庁内部局、市町村、経済団体、有識者等と意見交換を積み重ね、「大阪から「いのち輝く未来社会」をめざすビジョン」(案)中間とりまとめを公表した(9月)。</p> <p>○オール大阪での取組を推進するため、ビジョンの普及・浸透のためのシンポジウムを開催した(1月)。</p> <p>○万博誘致推進本部会議等の場を活用するとともに、市町村、経済団体、有識者等との意見交換や、パブリックコメントを実施のうえ、成案化した(3月)。</p>

ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の推進

<今年度何をするか(取組の内容、手法・スケジュール)>	<何をどのような状態にするか(目標)>	<進捗状況(H30.3月末時点)>
<p>■BNCT(*15)の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> 治験が進み、平成30年度に医療拠点が開設されるなど、医療としての実用化が見えてくる中、さらなる発展に向け、府は BNCT 推進協議会の事務局として、適応疾患の拡大に向けた協議の取りまとめや、専門人材の育成等の取組を進める。 <p>(スケジュール)</p> <p>平成29年5~12月 ⇒ 戦略的推進(適応疾患拡大、治療精度向上)に向けた検討 ⇒ 専門人材育成プログラム、募集計画の検討</p> <p>平成30年1~3月 ⇒ 情報発信事業の実施</p>	<p>◇活動指標(アウトプット)</p> <p>府は、BNCT 推進協議会事務局として、以下の活動項目の協議や検討を調整・取りまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 適応疾患の拡大に向け、BNCT 推進協議会と日本中性子捕捉療法学会との間で役割分担について協議の実施。 さらなる治療精度向上に向けて研究用機器等の確保に向けた国への要望。 医療スタッフ育成をめざした研修プログラムの作成、研修生募集計画の策定。 <p>◇成果指標(アウトカム)</p> <p>(定性的な目標)</p>	<p>○BNCT 推進協議会を開催し、BNCT の実用化、更なる発展に向けて、日本中性子捕捉療法学会との役割分担等の整理を行った(3月)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 適応疾患の拡大等学術的な課題解決等は学会が対応。本協議会は主に、専門人材育成事業や情報発信事業を行うことで学会の活動を支援。 <p>▶ ○治療精度の向上に必要な研究用加速器の確保など、研究拠点の強化に向けた国への要望を行った(6月)。</p> <p>○BNCT の実用化を見据え、BNCT の専門人材の育成や情報発信事業に取組む京都大学に対し、企業版ふるさと納税を活用した事業補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療実施を担うスタッフの育成に重点を置いた研修プログラム及び募集計画を策定し、人材育成講習会を実施(2月)。

- ・ 専門人材育成事業の実施による人材育成。
- ・ 病院関係者等への情報発信による認知度の向上。

(参加者：講習会 30 名、実習 7 名)
 ・ BNCT の治療の仕組み等、一般の方々にもわかりやすいリーフレットの作成（1 万部）と医療従事者向け出張講座の実施（1～2 月）
 (参加者：熊本大学 65 名、香川大学 61 名)

医療の国際化推進に向けた取組み

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H30.3月末時点）>
<p>■ 医療機関における外国人患者受入環境の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年のインバウンドの増加を踏まえ、来阪外国人が安心して医療サービスを受けられる体制等を充実させるため、関係部局と連携し、府内医療機関における外国人患者受入環境の整備を促進するにあたっての方策を検討する。 <p>(スケジュール)</p> <p>平成 29 年度前半 ⇒ 外国人患者受入の促進に向けた課題の抽出 平成 29 年度末まで ⇒ 上記課題の解決方策のとりまとめ</p>	<p>▷ ◇ 活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人患者受入の促進にあたっての課題抽出及び解決方策の検討。 <p>▷ ◇ 成果指標（アウトカム） (定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府内医療機関における外国人患者受入体制の整備 	<p>▶ ○ 府内医療機関における外国人患者受入の促進に向けた課題抽出及び解決方策を検討するための取組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療の国際化推進に向けた庁内 WG での検討（6 月、8 月、12 月） ・ 関係機関へのヒアリング 大阪国際がんセンター（7 月）、保険会社（5 月、6 月）、東京都（12 月）等 ・ 府内外医療機関の視察 大阪大学医学部附属病院（5 月）、榊原記念病院（12 月）等 ・ 大阪商工会議所設置の「訪日外国人向け医療環境整備検討会」への参画(5 月、7 月)

「再生医療国際拠点」形成に向けた取組み

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H30.3月末時点）>
<p>■ 「再生医療(*16)国際拠点」の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪・関西が強みを有する再生医療分野の更なる振興を図るため、関係部局と連携し、ヒトへの応用から実用化、グローバル展開まで一貫して産業化を推進する「再生医療国際拠点」の形成をめざす。 <p>(スケジュール)</p> <p>平成 29 年 7 月 基本計画（素案）作成 平成 30 年 3 月 基本計画（案）策定</p>	<p>▷ ◇ 活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「再生医療国際拠点」の基本計画策定 <p>▷ ◇ 成果指標（アウトカム） (定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「再生医療国際拠点」の形成に向けた環境整備 	<p>▶ ○ 大阪府、大阪市、経済界で構成する「中之島 4 丁目再生医療国際拠点検討協議会」において、再生医療をベースとした未来医療の実用化・産業化等を推進する国際拠点の形成に向けた「未来医療国際拠点基本計画（案）」を策定した（3 月）。</p> <p>【策定経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「中之島 4 丁目再生医療国際拠点検討協議会」（29 年 7 月、30 年 2 月）

【部局長コメント（総評）】

＜取組状況の点検＞

■人口減少・超高齢社会への対応について

当初の目的を、ほぼ達成することができました。

- ・ 国の地方創生関係交付金等を活用するなど、地方創生の推進に向けた取組みは、概ね当初の予定どおり進んでいます。
- ・ 結婚支援については、庁内プロジェクトチームを設置し、各種統計データ、他府県・府内市町村の取組み及び民間事業者の動向等の調査分析等を行いながら、支援策のあり方検討の経過報告を取りまとめました。

■「いのち輝く未来社会」をめざすビジョンの策定

当初の目標を、達成することができました。

- ・ 「いのち輝く未来社会」の実現に向け、万博のインパクトを活かしてオール大阪で目標を定め、さらに強力に取組を進めるため、住民に身近なサービスを担う市町村、産業振興等を担う民間企業・団体、高い専門性と知見を有する大学・研究機関などの意見交換を行うとともに、パブリックコメントを実施のうえ、大阪府においてビジョンを策定しました。

■ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の推進

当初の目標を達成することができました。

- ・ 適応疾患の拡大等 BNCT の発展に向け、BNCT 推進協議会と日本中性子捕捉療法学会との役割分担に関する整理を行いました。また、企業版ふるさと納税を活用し、京都大学が大阪医科大学と連携して実施する、専門人材育成・情報発信事業への支援を行いました。

■医療の国際化推進に向けた取組み

当初の目標を、ほぼ達成することができました。

- ・ 庁内検討ワーキンググループや府内医療機関等へのヒアリングにより、外国人患者受入の促進に向けた課題を抽出し、解決方策の検討を行いました。

■「再生医療国際拠点」形成に向けた取組み

当初の目標を、ほぼ達成することができました。

- ・ 「中之島4丁目再生医療国際拠点検討協議会」において、関係者間の議論のもと、「未来医療国際拠点基本計画（案）」を策定しました。

＜今後の取組みの方向性＞

■人口減少・超高齢社会への対応について

- ・ 地方創生関係交付金事業等の着実な推進を図るとともに、庁内各部局と連携し、平成30年度に向け効果的な施策を検討します。
- ・ 結婚支援のあり方については、婚活イベント等の効果を検証し、市町村や民間事業者との役割分担や連携のあり方を深めるとともに、大阪府における未婚者増加の要因等について更なる分析を進め、平成30年秋頃に結婚支援策のとりまとめを行います。

■「いのち輝く未来社会」をめざすビジョンの推進

- ・ 今後、ビジョンの目標に掲げている「健康寿命の延伸」や、「いきいきと長く活躍できる10歳若返り」の達成に向け、庁内各部局は勿論のこと、市町村、関係機関・団体と連携し、施策を推進するための体制の構築や、シンポジウム・展示会等によるビジョンの共有・浸透に取り組み、「施策推進⇒施策充実の検討⇒ビジョンの充実」と施策の深化のサイクルを、オール大阪でたゆみなく進めます。

■ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の推進

- ・ 学会との役割分担の整理を踏まえ、BNCT 推進協議会が実施する情報発信や専門人材育成等への支援及び関西の研究拠点の機能強化に向けた検討を行います。

■医療の国際化推進に向けた取組み

- ・ 庁内ワーキンググループでの議論やこれまでの取組みを踏まえ、引き続き関係部局と連携し、言語の課題への対応、情報発信の充実、国際貢献を進める府内医療機関の掘り起しなど、外国人患者の受入促進につながる取組みを検討・実施していきます。

■「再生医療国際拠点」形成に向けた取組み

- ・ 策定した「未来医療国際拠点基本計画（案）」の具体化にあたり、（仮称）未来医療推進機構の設立に向けた検討などが円滑に進むよう、関係部局への支援・調整を行います。